

多文化共生による地域づくり



1月11日、市農業研修センターで「札元1丁目多文化共生のまちづくり」を開催しました。これは、在留外国人と地域住民の相互理解を図り、地域づくりを推進するもの。ごみ分別や防災に関するワークショップのほか、もちつき大会も行われ、参加者は異文化交流を楽しみました。

一年の安全を祝う

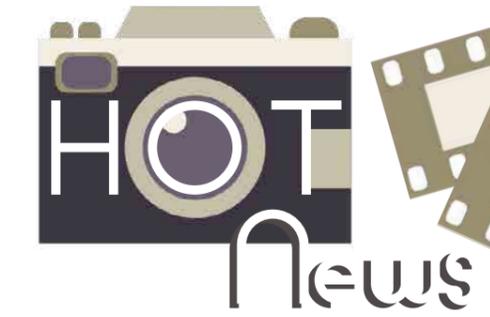


1月4日、田崎多目的運動広場で「令和8年鹿屋市消防出初式」が開催されました。当日は、消防団員や関係者等約1,500人が参加し、分列行進のほか長年消防活動に従事し功績のある団員の表彰などが行われました。最後に一斉放水が実施され、多くの人から歓声が上がりました。

クリスマスを幻想的な輝きが彩る



12月19～27日、「クリスマスファンタジーナイト2025in霧島ヶ丘公園」が開催され、約20万球の彩り豊かなイルミネーションが来園者を魅了しました。期間中には、ミニ花火ショーやクリスマスマーケット、マルシェなどが行われ、多くの人がクリスマスを堪能しました。



かのやのホットな話題をお届け

女子駅伝、肝属チーム9年ぶりに優勝



1月25日、霧島市で「第39回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会」が行われました。県内各地域でチームを構成し、12チームが6区間21.0975kmで健脚を競いました。1区でトップに立った肝属チームが最後までトップを守り抜き、9年ぶりの総合優勝を果たしました。

伝統の二十三や市 約5万人で賑わう



1月17・18日、串良総合支所前約1kmを歩行者天国とした「くしろ二十三や市」が開催されました。当日は、飲食や雑貨、刃物、苗木類など市内外から約200店舗が出店。ステージイベント等も行われ、2日間で約5万人が訪れた会場は老若男女で賑わいました。

なんでも鑑定団が公開収録



12月28日、市文化会館で市制施行20周年を記念して「出張！なんでも鑑定団in鹿屋」の公開収録が行われました。200点の応募の中から5点のお宝が登場。約1,000人が来場した会場は、笑い声や驚きの声が響き盛り上がりしました。放送は、3月1日(日)12時～(KYT)の予定です。

拉致問題、早期解決を望む



12月23日、市役所で「拉致被害者家族及び特定失踪者家族への署名簿引渡式」が行われました。拉致問題の早期解決を後押しするため、北朝鮮人権侵害問題啓発週間の12月10～16日に実施した署名1,772筆を拉致被害者家族に手渡しました。

新春を楽しむ



1月11日、かのやばら園で「新春祭り」が行われました。当日は、むかしあそび体験や大抽せん会などのほか、新春の舞よさこいなどが行われ、参加者は楽しみました。

けいこ始め、一同に集う



1月10日、クレバリーホームアリーナで「令和8年鹿屋市スポーツ協会けいこ始め式」が開催され、スポーツ振興に尽力した3団体24名を表彰したほか、更なる振興を誓いました。

県で金賞を受賞



1月9日、田崎小学校金管バンドが市役所を訪れました。これは、昨年12月に開催された県大会での金賞受賞を報告するもの。児童たちは、2月に出場する九州大会への意気込みを語りました。

子どもの成長を祝う



1月7日、輝北総合支所で「輝北地区町内会合同七草祝い」が開催されました。これは子どもたちの健やかな成長を願い毎年行われており、記念品が贈られ、全員で祝いました。

ボランティアで表彰



12月21日、輝北町在住の脇田義弘さん(68歳)が献血100回を達成しました。大きな事故をしたことがきっかけで、世のため人のために何かできないかと始めたそうです。

収穫を祝う



12月21日、東原研修館で東原町内会による「年末収穫祭」が開催されました。町内会で育てた野菜等の販売や飲食コーナーのほか、ステージイベントも行われ、盛り上がりしました。